



令和2年度 旭区きらっとあさひ地域支援補助金

団体名(活動地区)

活動写真

活動紹介文

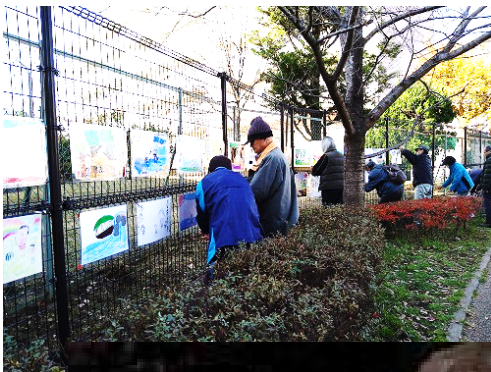
事業名

交付団体活動紹介

今年度「旭区きらっとあさひ地域支援補助金」の交付を受け、新たな3団体を含め8地区15団体が地域活動に取り組んできました。それぞれの地域をいつまでも住み続けたいまちに！旭区は区民の自主的な活動を支援しています。

※掲載は50音順です。

旭北地区連合自治会（旭北地区）



「見て見て！ホタルが手にとまりました」

昨年度飼育したホタルの幼虫は、中堀川上流に放流し6月に飛翔を確認できました。

<https://www.youtube.com/watch?v=KIBChcY7D04> ※動画はこちらからご覧ください。

現在は、コミュニティハウスの側に飼育場所を設置し幼虫を育てています。中堀川沿いに展示している地域の小学生の絵画についても、和みの場としてこれからも継続します。

今後は、PRのためにホームページを立ち上げ活動メンバーの増員を目指します。

中堀川いこいの場づくり

希望が丘ハッピー・K (希望が丘地区)

「突然ですが認知症予防しませんか？」

介護・医療関係の有志メンバーで立ち上げ、令和2年10月から活動を始めました。

誰にでもやってくる「若い」に元気に向き合えるよう、楽しみながら地域でできる介護・認知症予防プログラムを企画しています。

メンバーの特技を生かした英語やダンスのプログラムを中心に、参加者も発信できる場をつくっていきます。



「みなさん元気にいち・に・さん！」

希望が丘 介護・認知症予防事業

きぼうの手 (希望が丘東地区)

地域のボランティア「きぼうの手サポーター」を派遣し日常生活の困り事を有償でお手伝いすることで、高齢者や障害者も含め支え合い安心して暮らせるまちを目指します。

庭木の剪定講習を開くなど、サポーターの養成・スキルアップも計画しています。

令和2年度は、屋外での作業が活動の中心ですが、庭木のお手入れ以外にも買い物代行や包丁研ぎなどサポートの内容は多岐にわたります。



「道具の使い方もばっちりです！」

生活支援ボランティア

県営今宿団地自治会（今宿地区）



団地に住む高齢者がいきいきと暮らし続けられるよう、さまざまな交流会や健康相談会を企画し、健康団地を推進しています。

団地の空き室を改装して整備した活動拠点「まごころの家」は、趣味の教室を開くなど、住民同士のコミュニケーションの場になっています。

孤独死や孤立化の防止につながればと、テレビを設置して高齢者や独居者がさらに気軽に立ち寄れる居場所をつくる計画です。

県営今宿団地健康団地づくり事業

災害時支援プロジェクト（鶴ヶ峰地区）

平成 28 年度に作成し、町内会会員へ全戸配布した「災害時避難マップ」を関係各所の協力でリニューアルし、令和 2 年 10 月に町内会会員・賛助会員および地域内の施設に配布しました。

このマップをもとに、地域の高齢者施設、障がい者施設、病院等と意見交換をしながら、これからも顔の見える関係作りを続けていきます。



「安否確認の黄色いタオルを地域の施設へ配布しました」

災害時支援プロジェクト

しらね相友さくら会 (白根地区)



「フラワーポットは地域の
見守りにも一役買っています」



感染症予防や認知症の理解・
特殊詐欺講習会をテーマに「ふれ
あいサロン」を行い、身近でた
めになり楽しめる行事等を通
して自治会内の交流を深め、互
いの顔が見える関係作りに取
り組んでいます。

また、災害時の援護を希望す
る方には手作りのフラワーポ
ットを配布するとともに、自
治会全体での黄色いハンカチ
を使った安否確認訓練を行う
など、近隣相互の共助活動
を行っています。

白根相友自治会支え合いネットワーク

白根東部町内会 (白根地区)

高齢者の「生きがい」「喜び」
につながり、交流の機会をつ
くる活動に取り組んでいます。

災害時要援護者支援体制の確
立をはじめ、公園環境整備事
業やグラウンドゴルフによる
健康促進事業等を実施し、コ
ミュニケーションをとりなが
ら過ごしやすいまちづくりを
進めてきました。

家庭菜園の収穫イベントの際
には若い住民に参加を呼び掛
け、老若男女の垣根を超え次
世代に継承できる活動を展
開しています。



「屋外での楽しい健康づくり」

はくとう (白東) 次世代の架け橋

地域サポート希望が丘東 (希望が丘東地区)



「毎週楽しみにしています！
移動スーパー」



買い物支援、移動支援、居場所作りや見守り活動を通して困りごとを解決し、不安を「安心」に、不便を「便利」に変えて、生きがいと魅力ある地域共生社会の実現を目指しています。

移動スーパーは誘致して1年半、5か所の販売場所にて多くの方に支持されており、併せて、もったいないバザールを開催して食品ロスの低減にもつなげています。また新たに御用聞きサービスを立ち上げ生活の利便性を高めることにも取り組んでいます。

安心・安全に生活できる地域生活環境の実現

特定非営利法人オールさこんやま (左近山地区)

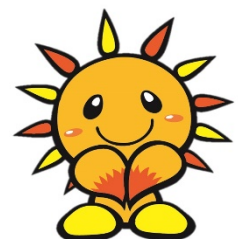
地域の交流スペース「ほっとさこんやま」を会場として小学生を対象とした「さくら教室」を開いています。

一般的な学習塾と違い自ら進んで勉強できるよう地域のボランティアが子供たちのお手伝いをしたり、勉強の仕方について楽しく教えています。

地域の大人とも顔見知りになり、世代間の交流の場にもなっています。



「さくら教室は
ほっとさこんやまの2階にあります」



小学生への学習支援

【SDGs取組粋事業】 ハートフル・ポート（希望が丘地区）



～SDGs～
今私たちにできることは？
～住みたい地球は自分たちで創る～
誰もが取り残されない社会を目指して

「SDGs」って何？ 私たちの生活とどんな関係があるの？

「SDGs」とは、一言でいうと「2030年に向けた世界の目標」のこと。17のゴールと169のターゲットがありますが、決して難しい目標ではなく、実は自分自身の身近なゴールでもあります。自分ができるターゲットをひとつずつ、アクションを起こしていきたいと思います。住みたい地球へ積極的参加は、小さな一歩から！

【内容】1. SDGについて
2. SDG「水」アクションプランをテーマとして、自分自身ができることからアクションを起こすワークショップ

12月2日（水）10時～12時
場所：ハートフル・ポート ※オンライン
講師：船子・エタベリ氏
（株式会社アップストリート代表取締役社長）
参加費：5,000円（オンライン参加は無料）
※定員あり、先着順で参加を締め切ります。※定員中はキャンセル待ちです。

申し込み・お問合せ：ハートフル・ポート
連絡先：042-552-7111 / info@heartfulport.com
参加申込書ダウンロード：heartfulport.com/entry

【船子・エタベリ氏】
株式会社アップストリート代表取締役社長。アップストリートは、社会課題を解決するための社会起業家集団。社会課題を解決するための社会起業家集団。社会課題を解決するための社会起業家集団。

※主催：ハートフル・ポート ※協賛：希望が丘地区民生委員会の協賛事業です

「カフェから始まるまちづくり」

今年度は、状況を見ながらオンラインを活用しつつリアルな場も大切に、流れに逆らわず今できることに取り組みました。

コロナ禍のひとり親支援のお米の配給や、もやっとカフェ、環境イベント等の学びの場づくり他、こんなことやりたいという声を拾いながら、地域の方々が活躍できる場づくりを展開し、自主的に一歩踏み出す人を応援することで持続可能な地域づくりを目指しています。

「希望が丘未来まちづくりプロジェクト」

ブルーベル（希望が丘地区）

福祉事業所から仕入れたパンは持ち帰りの販売をメインにし、イートインはテラス席のみとしました。

感染対策をいっしょに「小さなお楽しみ部」を開催し、折り紙やパステル画教室などを行いました。

また、地域の方々が楽器を持ち寄ってセッションしたり、地域の音楽家と一緒に演奏する動画をYouTube配信する「ブルーベル音楽部」も地域交流に貢献しています。



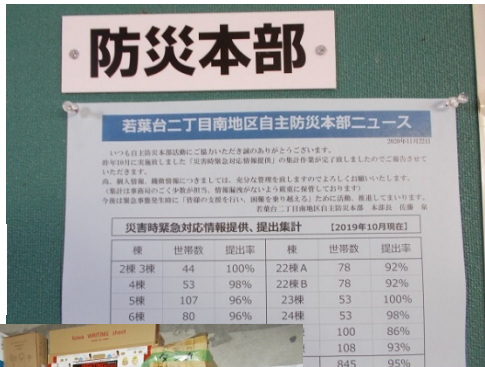
「小さなお楽しみ部活動中」



多世代交流し地域を活性化する取り組み スマイルモア

若葉台二丁目南地区自主防災本部 (若葉台地区)

「いざという時
安心です！」



地区の住民の防災や自助・共助に対する意識向上のため、防災訓練の計画や備蓄品の準備等に取り組んでいます。

昨年度は防災マニュアルを作成したほか、住民から収集した情報を災害時の緊急対応に役立てられるよう整理しました。

今年度は大人数が集まる訓練の実施を控えましたが、いざというときに活用できるよう、災害救助工具等を準備しました。

若葉台二丁目南地区自主防災活動

【SDGs取組粋事業】 若葉台東ふれあいサロン (若葉台地区)

高齢者が心身共に健康な日々を送るためには、コミュニケーションが第一という考えのもと、今年度は特に飛沫感染にも配慮しながら、8月から茶話会、9月からは通信システムを使い、健康体操、歌声サロンとカラオケ会を実施しました。

併せて、コーヒーショップも開設し、憩いの場を作りました。

12月には講師を招き「SDGsをもっと知る会」を主催し、地域の方々と共にSDGsについての知識を深めました。



「SDGsについて勉強中」

若葉台東ふれあいサロン

若葉台もみじ自治会自主防災会 (若葉台地区)

地域内の高齢化が進む中、安否確認する際の役員等の負担を軽減する為に「助けてください赤いタオル(緊急を要する救助が必要な場合に掲出)」を全戸に配付しました。

各家庭のベランダの手すりに結ぶことで外からも一目瞭然で確認することができます。

実際の発災時に備えて、防災訓練時に掲出訓練を行いました。



「助けてください赤いタオル」配付準備中!

防災意識の向上並びに発災時の安否確認体制の確立

若葉台もみじふれあいおたすけ隊 (若葉台地区)



「ちょっとしたお手伝いの必要な方お待ちしております」

高齢者や身体の不自由な方、子育て世代等、日常生活の支援が必要な方々のちょっとした困りごとのお手伝いを行い、地域のご近所同士が支えあい、助けあえる街づくりをめざしています。

また、ふれあいサロンを開催して地域のみなさまの交流の場を提供するとともにおたすけ隊の活動を紹介しています。

支援が必要な方には会員になってもらい、災害時の安否確認にもつなげます。

10年先を見据えた住民同士の助け合い事業